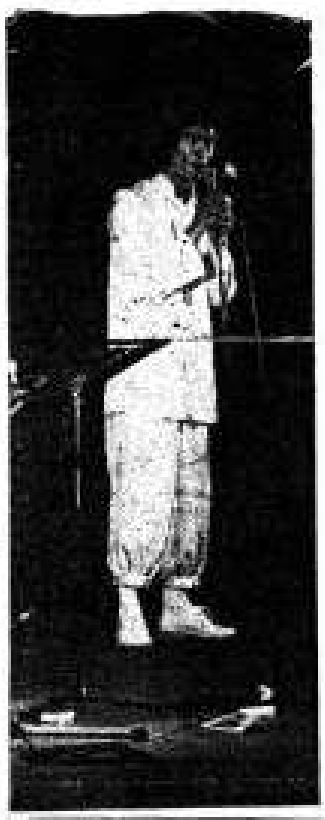
東京で初のコンサート

オールナイト・ニッポンに登場してから、いよいよ東京ではじめての「松山千春の旅立ちコンサート」をおこなうとともに、新曲レコードの発売にともなってふたたび道内コンサートが予定されています。



東京での初公演は十一月十六日午後六時三十分から、全席指定の前売券をこの十五日から都内のプレイ・ガイドで発売しましたが、すでによい席はほとんど売切れの状態といわれています。

オールナイト・ニッポンには出る東京でコンサートをひらくようになって、千春は段々遠い存在になっていくようだといわれますが東京に住みつくわけではなく、チョッと々出かせがに々にいくようなもので、あくまでも地元を根拠にして行動範囲がひろがっていくということです。

たとえばこんどの東京公演についても、新宿厚生年金会館という会場を借りるだけで、マイクから照明設備のいっさいはこれまで千春が道内公演に参加していた技術メンバーとともに上京して、準備つ子の歌とおしゃべりをふりまいてくるわけです。

シングル盤レコードは一月に「旅立ち」と「初恋」六月には「かざぐるま」と「最の雨」につづいて、十一月二十五日に「時めいたずち」と「白い花」が発売となります。

各地のレコード店によっては、すでに早手まわしに明年一月二十五日に発売予定の千春のファースト・アルバム盤の予約受付をはじめており、例によって予約した方だけにポスターつきということですが、千春の方は「アタ・ヤン」と「オールナイト」のあいまを縫ってLPづくりに一生懸命です。

これが一段落したところで、年内に五カ所ほどのコンサートを計画しています。

読者の室

これは、あるはの私と母んです、友達と遊ぶのも、いつもだめだし、学校でラジオがあっておそくなったちすぐ怒るし、レコードなど、なんでも買うのもいっもいちいちことわらなきゃならないのです、受験の年だっていうのは嬉いほど良くわかっているのです、心配してくれる気持もわかるんです、受験の年ってみんなこうなんでしょうか？これは私のわがままなんでしょうか？

でも優いお父さんに「行ってもいいでしょう」って言ってなんとか「いい」って言ってもらったからコンサートには行けることになったけど…

（旭川のM・Kさん）

母「その一日がだめなのあんた今年は受験なんだから一日でも遊んでられないの！」

私「そうしたら、これから絶対に遊んじゃいけないの？一日中勉強してあっていうの？」

母「ダメ・遊んでいるひまなんかないんだよ、今年は受験なんだよ、受験！」

……どう思いますか？私もういやです、いつもこうなの！」

私「そうしたら、これから絶対に遊んじゃいけないの？一日中勉強してあっていうの？」

母「ダメ・遊んでいるひまなんかないんだよ、今年は受験なんだよ、受験！」

……どう思いますか？私もういやです、いつもこうなんです、友達と遊ぶのも、いつもだめだし、学校でラジオがあっておそくなったちすぐ怒るし、レコードなど、なんでも買うのもいっもいちいちことわらなきゃならないのです、受験の年だっていうのは嬉いほど良くわかっているのです、心配してくれる気持もわかるんです、受験の年ってみんなこうなんでしょうか？これは私のわがままなんでしょうか？

でも優いお父さんに「行ってもいいでしょう」って言ってなんとか「いい」って言ってもらったからコンサートには行けることになったけど…

（旭川のM・Kさん）

★　★　★

札幌の祖父のおばあさんです、「とかち新聞」とても楽しく拝見させて頂きました、中三の孫が新聞をみながら『千春には お父さんがいていいね』と言ってくれているのです。

実は私の所は、子供達の父は春男が五才、長女が三才の時、病気で亡くなり、は来十三年の月日が流れました。

父親の思い出が全くない中三の娘にとっては、お父さんの存在がきっとうらやましく感じられたのだろうと思います。

当時あんな幼なかった子供達も高三、中三と成長してくれてやれやれと思いますが、来春の入試を控えまだまだ私の責任は終りません、二人とも多感な難しい年令にさしかかって、私は一人二役の荷が重すぎて泣きたくなることがあります

子供達の読む本は私も読み、子供達がきくラジオは私も一緒になってきくことにしています、そんな中から話題も生れ楽しく母子でやって行けたらと思うからです。

オールナイト・ニッポン一回目、二回目と目覚しをかけて娘と一緒にきました、私は朝八時から夜の八時まで店に出て働いていま

★　★

千春さんのことゆまでわからなかった部分が々千春新聞々や雑誌などの記事で以前より少しわかってきたような気がします。

特に平凡パンチなんて千春さんのこと、べたほめ！ほんとうに北海道での千春さんの活躍ぶりが、目に見えるようで、拍手を送りたい気持です。

（野幌のN・M さん）

千春にもこんな時代もあったわけで、小さいころはからだが弱かったものの、足寄中学校に入ってからは

バスケットボールに夢中になってから元気になり、オリンピックの選手になるんだとガンバっていたものですが、その反面、町内中学校の弁論大会に優勝して全十勝大会にすすんで最優秀賞の賞状とトロフィーをもらってきたものでした。

しかし千春の中学生のころにもっとも感動をうけたのは、男音の主催で足寄町公民館でひらいた岡林信康のコンサートで、戦争歌でもないポップスでもない生活感あふれるフォークに魅せられたものできょうの仕事はつらかったあとは焼酎あおるだけどうせ、どうせ山谷のヤケ住いほかにやることありやしねえひとり酒場で飲むときに帰らぬ昔がなつかしい泣いて、泣いてみたってなんになるいまじゃ山谷がふるさとよ工事終ればそれっ切りお払い箱のおれたちさいいさ、いいさダイケの立ち話

仲間をうらんでなんになる人は山谷を捨くいうだけどおれたちいなくなりゃどんな、どんな連絡もできやしねえだれもわかっちゃくれねえかだけどおれたち泣かないぞはたらくおれたちゃの世の中がきっと、きっとくるさそのうちにその日にゃ泣こうぜうれし泣き

この「山谷ブルース」をきいてシコッタをうけ、オレはこれをやろうと決意したものです。

貧乏くらしのなかで、こうして育った千春の歌手ぶりは、こうすればヒットするとばかりにベテランの作詩、作曲家がつくった歌に振りをつけてもらって、華やかな衣装とバックのなかで舞踊する見世物ショーではなく、自分の詩に曲をつけてギターを弾きながら生活体験や人生を語るところにあります。

だから自分は、いわゆる芸能人の世界に入ったつもりはなく二十一才の平凡な一青年がやりたいことをやっているので、スター扱い

主筆の室

○…電話をかければ気がるに応対に出る、手紙を出せば返事を書く、これが親しみのもてるローカル新聞ちしまだったのですが、千春はいままではできるだけつとめていたのですが、いまは東京―札幌―東京からもれ州までの往復となり、その命綱がなくなったのでよろしくご協力下さい、そのかわり父や母へはご連絡なくには閉口していますので、ファンクラブがあちこちらにできているようで、それよりも学生は勉学に、社会人は職域でガンバって下さい

○…お問合せの多い千春に関してお答えします。

一、誕生日は十二月十六日

二、身長は一七〇

三、体重は五二

四、靴のサイズは二五、五五、好きな色はライト・ブルー

六、たべものに好き嫌いはありません

七、恋人はいません

○…千春のコンサートでは会場での写真撮影は禁止となっていますので、多くの方々から写真がほしいとのお便りを頂きますが、STVパックタとしてはプロマイドの発売を計画中で、それまでのあいだ便宜上ご希望の方に当社で前号から本紙に掲載の分でよろしければおわけいたします。

○…ご希望の写真を指定して下さい、能率し料、郵送料として大きい方の写真は三百円、中型は二百円、小型は百円（郵便切手でもお送り下さい。

○…この『千春特集号』はこれまで月に一回程度の発行でしたが、今月から月二回発行となりましたので、郵送料は毎月二百円、一カ年前納の方は二千円にさせて頂きます。

○…ご送金の方法は、郵便局で定額小為替を利用すれば一千円で十円、二千円で二十円で証券を買い、それをお便りの中へ入れて普通郵便で送って下さるのが一番便利です。